

電話

今では家庭用電話の他に携帯電話やテレビ電話なども登場し、電話は、通信手段としていちばん身近な存在になりました。その歴史は1876年（今から約120年前）にまでさかのぼります。

日本では1877年に使用が開始されました。

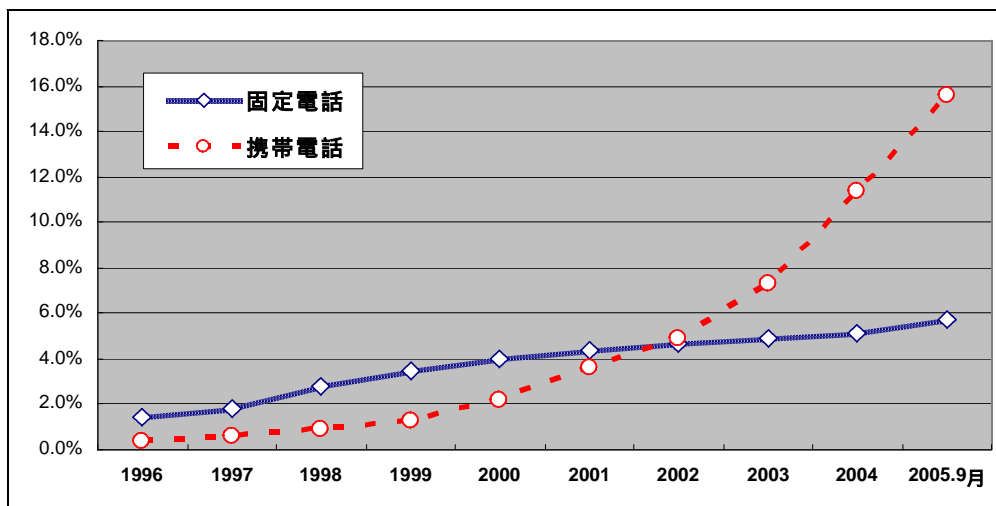
では、ここスリランカでは、いつごろから電話が使われ始めたと思いますか。

スリランカで電話が使用され始めたのは1897年のことです。オリエンタル・テレホンカンパニーという会社が設立され、58台の電話でスタートしました。その後、スリランカ政府がそれを買取り、国営事業としてのテレホンサービスになりました。

1938年には、オートマチックのテレホンシステムが取り付けられ、使用できる電話が大幅に増えました。近年、コンピューターを取り付けて、音声をうまく調整できるような工事や古くなってきた音声回線を新しくするための工事も行われています。これらの工事は、技術・資金とともに日本の協力で進められています。

2002年に国際通信市場の自由化が決まり、2005年には固定電話3社、携帯電話4社、インターネットプロバイダーに至っては10社以上となり、大きな経済の発展をしてきました。

< 年度別電話普及率の移り変わり（対人口比） >



< Telecommunications Regulatory Commission of Sri Lanka 公表数値 >

また、コロンボ市内のいたるところで様々なタイプの公衆電話が見られます。通話料金は、コロンボ市内1通話2分間で2ルピー硬貨2個（4ルピー）です。プリペイドカードを使用する公衆電話からは直接外国へもかけることができるようになりました。



公衆電話

スリランカからの^{こくさい}国際電話は、これまで^{かいてい}海底ケーブルだけにたよっていましたが、1975年に地上局が開局してからは、インド洋上の^{つうしんえいせい}通信衛星インテルサット4号によって世界じゅうの国々の人々と話ができるようになりました。^{ざつおん}雑音も少なく^{せんめい}鮮明に^{じゅわき}受話器を通して会話をすることができます。

^{りよきん}国際電話料金 (主な国をピックアップさせていただきます)

通話国	通話料金(1分)
日本 アムカ イギリス カナダ フランスなど	Rs. 20.00
オーストラリア 中国 ^{かんこく} 韓国 インドネシア タイなど	Rs. 22.00
インド モルディブ ネパールなど	Rs. 30.00
エジプト イラストロなど	Rs. 35.00

- ・ 上記^{いがい}以外に、通話先の国により合計9区分あります。(Rs.20.00 ~ Rs.88.00)
- ・ 時間帯^{たい}に関わらず、同一^{かか}の料金になります。